

令和3年度 自己評価報告書

評価対象期間

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

学校法人明進学園

目次

本年度の教育重点項目

基準1 教育理念・目的・人材育成像

基準2 学校運営

基準3 教育活動

基準4 学修成果

基準5 学生支援

基準6 教育環境

基準7 学生の募集と受入れ

基準8 財務

基準9 法令等の遵守

基準10 社会貢献・地域貢献

【評価】 適切・・・4 おおむね適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

本年度の教育重点項目

<p>【基本方針】 語学力と国際教養、商業実務能力の習得を目指す学校教育を行い、文化多様性への理解を深める教育を通して、グローバルな環境で活躍できる人材を育成する。</p> <p>【今年度の教育重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・英語ビジネス専攻のカリキュラムの定着化・座学より実践。知識の伝授より学習マネジメントに重点を置き、学生を孤立させない・学生募集方法の確立・留学生、日本人学生が交流できる環境づくり
--

項目別評価

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目		自己評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	理念、人材育成像は定められている。
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	英語ビジネス、社会福祉専攻共に適合している。
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	留学生と日本人学生が交流できる学びの環境を提供している。
社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	地域社会に貢献できる人材育成を目指している。

1) 現状の取り組み

理念、目的、人材育成像に沿って運営をしており、年度ごとに到達目標を学生に提示している。日本人学生と留学生が勉強や学校生活を通して、お互いに成長、発見ができる場を提供し、グローバル社会において活躍する人材の育成を目指している。
--

2) 課題と今後の改善策

英語ビジネス専攻は今年度、初めてのクラスができ、理念、目的などを十分共有できていなかった。今後は、理念や人材育成像等を土台とし、教職員、学生一人一人がそれに向かって進めるようにしていきたい。

3) その他特記事項

なし

2. 学校運営

評価項目	自己評価	
理念等に沿った運営方針を定めているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	理念に沿った運営方針を定めており、教職員への周知も行っている。
理念等を達成するための事業計画を定めているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	事業計画は定められている。
設置法人の組織運営を適切に行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	設置法人の組織運営を適切に行っている。
学校運営のための組織を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	大まかな組織は整備されているが、細かい役割はまだできていない。
人事・給与に関する制度を整備しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	ステージ制を導入し、人事・給与に関する制度を整備している。
意思決定システムを整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	現状は大きな問題はないが、今後、規模が大きくなった場合、意思決定システムの構築が必要。
情報システムに取り組み、業務の効率化を図っているか	4 ・ 3 ・ ② ・ 1	業務運営に情報システムを効率よく取り組んでいない。

1) 現状の取り組み

運営方針は、経営ビジョン発表会で教職員へ周知を図っている。専攻ごとの教育、進路指導といった年間の事業計画と中期計画を策定している。

2) 課題と今後の改善策

事業計画の施行体制、業務分担は各部門ごとに精査されているが、全体的にみると不十分なところもある。来年度で開校4年目。事業計画の策定方法、細かい役割、連携方法等改めて、見直す必要がある。
情報システムは、WSDBを導入し来年度より本格的に運用予定。組織作りについては、将来を見据え構築していきたい。

3) その他特記事項

なし

3. 教育活動

評価項目	自己評価	
理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	グローバル社会での即戦力を育成し、仕事に必要な資格も取得すべく、教育課程、実施方針を定めている。
学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	教育到達レベルを明確にし、資格・能力・社会人としての考え方を養っている。
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	英語ビジネス専攻、社会福祉コミュニケーション専攻共に目標を定め、教育課程を編成している。
教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 ・ 3 ・ 2 ・ ①	反映できていない。
キャリア教育を実施しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	就職先と連携を取り、必要な能力やマナーを集約。それを基に必要な教育を実施している。
授業評価を実施しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	全教員対象に年に1回実施している。
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	学則に基づき明確化し運用している。
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 ・ 3 ・ 2 ・ ①	技術を発表する場を設けていない。
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	社会福祉コミュニケーション専攻は、明確に位置づけられている。英語ビジネス専攻は、学生により進路が異なるので、統一された資格は明確になっていない。
資格・免許取得の指導体制はあるか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	留学生には、日本語の資格が取れるように指導体制を設けている。英語はそれぞれの進路に合わせ、必要な資格の取得、指導体制ができています。
資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	確保できている。
教員の資質向上への取組を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	長期休みに教員を対象とした勉強会を行っている。今年度は、ICTに関する勉強会を実施した。
教員の組織体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	教員の組織体制は、概ね整備されている。

1) 現状の取り組み

社会福祉コミュニケーション専攻は、資格取得に向けてのカリキュラムができており、就職先、アルバイト先との連携し必要なキャリア教育を実施。到達目標もはっきりと定められており、学生も教職員も目標を共有している。
--

2) 課題と今後の改善策

英語ビジネス専攻は、学生数が少ないため、学生の進路や希望に合わせてサポートを行っている。レベルによってクラス分けができる人数ではないため、レベル差があり目標や資格にも個人差がある。今後、就職に必要な英語やビジネスの資格は共通して目指せるようにしていきたい。
--

3) その他特記事項

なし

4. 学修成果

評価項目	自己評価	
就職率の向上が図られているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	就職担当・担任で面談を実施し、学生のニーズに応じた対応をしている。講義内容も就職を意識した内容としている。
資格・免許取得率の向上が図られているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	カリキュラムのフィードバック、学生との面談などを通し資格取得の向上が図られている。
卒業生の社会的評価を把握しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	OBOG会を発足し、卒業生との連携を強化し把握に努めている。

1) 現状の取り組み

授業だけでなく卒業生、アルバイト先との連携により学生の課題を見つけ、評価ができる体制ができている。

2) 課題と今後の改善策

資格取得だけでなく、社会人教育の充実、コミュニケーション能力を重視した授業内容を教員同士でブラッシュアップしていきたい。

3) その他特記事項

なし

5. 学生支援

評価項目	自己評価	
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	書類作成・面接指導の実施をしている。グループ法人と連携し、就労支援を行っている。

退学率の低減が図られているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	未然に防ぐべく相談体制を設けている。
学生相談に関する体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	教職員間での連携を取りながら、相談窓口の整備や個別面談を実施している。
留学生に対する相談体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	同上
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	学費の支払いについては経済的側面を考慮し、個別対応を実施している。アルバイト先の紹介も行っている。
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	教職員間での連携を取りながら、相談窓口の整備や個別面談を実施している。
学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	通学が容易な距離に寮を整備している。
課外活動に対する支援体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	年間予定には、課外活動を設定しているが、コロナ渦のため現状は積極的に行っていない。
保護者との連携体制を構築しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	必要に応じ、電話・メール・対面での連携を取っている。
卒業生への支援体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	グループ法人と連携し、支援を行っている。
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	就労後支援として留学生に対する日本語能力向上のための講義を行っている。
社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4 ・ 3 ・ ② ・ 1	現状、社会人に対する教育は行っていない。

1) 現状の取り組み

母国語が話せるスタッフがいるため、留学生のトラブル、保護者などの対応ができています。教師との面談も細かく設定されているため、学生自身に起きている問題も把握しやすい。今年度からは、主に卒業した留学生の日本語のサポートができる体制を作った。

2) 課題と今後の改善策

課外活動は、来年度コロナが収束したら積極的に行っていきたい。また、学生の心理的なサポート体制は充実していないため、専門の教師と連携できるようにしていきたい。

3) その他特記事項

なし

6. 教育環境

評価項目	自己評価	
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	校舎は比較的新しく、整備されており、基準を満たしている。
学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	インターンシップを行っている。
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	防災委員会を設置し、全校で防災訓練を年1回実施している。
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	毎年AED研修を実施している。

1) 現状の取り組み

防災委員会では、避難訓練、職員を対象にAED研修等を実施している。インターンシップも企業と協力しながら行っている。

2) 課題と今後の改善策

設備については充実してはいるが、学生は活用ができていないため効果的に利用できるように案内していきたい。防災訓練については、今年度はコロナ禍で1回だけだったが、定期的の実施し、防災意識を高めていく必要がある。危機管理、安全管理体制は学校全体として組織的に取り組む必要がある。インターンシップについては、目的をより就労後を見据えたものにしていきたい。

3) その他特記事項

なし

7. 学生の募集と受入れ

評価項目	自己評価	
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	資料送付や高等学校に訪問して説明を実施している。

学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	同上
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	合格基準点を設け運用している。
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	留学生については入試で日本語能力を図る筆記試験や面接試験を実施し、個別の成績や所見をもとに学生のレベルに応じた授業内容にしている。
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	算定している。
入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	年度末の3月31日までの入学辞退であれば、学費を返金することになっている。

1) 現状の取り組み

<p>入学選考は適切に行っており、入学する学生に応じて授業のやり方も工夫されている。学費に関しては、経費内容に対応し算定している。また奨学金制度、留学生学費減免制度を設けている。入学辞退者に対する授業料の返金については、ルールを設け、募集要項で周知している。</p>

2) 課題と今後の改善策

<p>学生募集に関する情報提供は、十分にされていない。定期的な学校訪問、オープンキャンパスも十分にはできていないので、学生募集に関する年間スケジュールの確立と人員の動員が必要。</p>
--

3) その他特記事項

なし

8. 財務

評価項目	自己評価	
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	資金繰りは引き続き課題として注意していかなければならない。
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	最近の3年間の財務分析について、問題はない。
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	予算案、収支計画を作成している。

予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	概ね問題なし
私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	監査は実施されており、指摘された項目についての改善も行われている。
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	公開が義務付けられている書類の作成はできているが、積極的には公開していない。

1) 現状の取り組み

<p>予算案、収支計画を作成し、収支のバランスはとれて利益の見込みも立っている。監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は行われている。</p>
--

2) 課題と今後の改善策

<p>資金繰りについては引き続き、課題である。</p>

3) その他特記事項

<p>なし</p>

9. 法令等の遵守

評価項目	自己評価	
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	適正な学校運営を行っている。
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	個人情報保護については、管理されているが、教職員全体に意識共有ができていない。
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	今年度より、評価者の幅を広げ評価を行っている。
自己評価結果を公表しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	今年度より、ホームページで結果を公表している。
学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4 ・ 3 ・ 2 ・ ①	学校関係者の評価については、実施していない。
学校関係者評価結果を公表しているか	4 ・ 3 ・ 2 ・ ①	学校関係者の評価は実施していないため、結果も公表していない。

教育情報に関する情報公開を積極的に 行っているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	社会福祉コミュニケーション学科では、 教育情報を看護・介護部会やセミナー等 で公開している。
-----------------------------	---------------	--

1) 現状の取り組み

自己点検自己評価については、適切に行いホームページで結果を公表している。学校関係者の評価体制は整備されていないため、今後体制を構築していく必要がある。

2) 課題と今後の改善策

コンプライアンスについては、今まで具体的な取り組みを行ってこなかった。来年度は、教職員の意識を向上させるため、コンプライアンスに関する委員会を立ち上げ、法人全体で意識改革を行っていく。
--

3) その他特記事項

なし

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	
学校の教育資源を活用した社会貢献・ 地域貢献を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	職域接種を実施。卒業生もスタッフとして携わった。
国際交流に取り組んでいるか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	地域の高校と留学生との交流企画を計画している。「多文化交流フェスティバル」を実施している。
学生のボランティア活動を奨励し、具 体的な活動支援を行っているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	課外活動委員会で地域でのイベント参加を募集し、活動を促している。

1) 現状の取り組み

今年度は、週に1回学校前の公園の清掃を行い、町内会の広報誌でも取り上げられた。当校の留学生と近隣の高校生、住民の方との交流会を定期的に行っている。また、地域の日本人、外国人との交流を目的に年に1回、多文化共生フェスティバルを企画している。

2) 課題と今後の改善策

コロナ禍で、交流の機会が減っている。地域との交流、外国人と日本人の交流は当校の特色でもあるので、今後、更に充実させていきたい。

3) その他特記事項

今年度は、7月と8月に新型コロナワクチンの職域接種を実施。学生、教職員、卒業生が就職した企業の職員等が接種を受けた。